

村島歸之 たけのこ 評論家。明治二十四年奈良縣生れ（一八九一）。早稲田大學卒。新聞記者。

著譯書『勞働爭議の實際知識』（大正十四年八月）二十五年科學思想普及會）、『歡樂の墓』（大正十四年十一月十二日文化生活研究會）、

『ゴッソンの屠から』（大正十五年八月十八日大阪・サンデー・ニエー
ス社「探偵趣味叢書」）、『善き隣人（方面委員（制度）の足跡』（昭

和四年六月一日大阪・大阪府方面委員後援會、再刊・七月二十日創元
社發賣、第一篇・七年十一月十日大阪・大阪府方面委員後援會）、『善

き隣人・第二篇』（昭和十二年二月十一日大阪・大阪府方面委員後援
會）、（愛の小説『美しき献身』（昭和二十二年十一月一日大阪・清文堂書

店）、A・C・クヌーテン著『解放の預言者』日本社會史より見た賀
川豊彦の研究』（小川清澄共譯、昭和二十四年二月十五日警醒社書

店）、『日本の歩み五十年』（合著、昭和二十五年十一月二十日早川
書房）、賀川豊彦著『酒床と道場として—私の体験した精神療法』（解

説、昭和二十四年一月六日楳書房）、『愛と死の別れ—野の花のまよ
う夫婦の手紙』（じぶんの共著、昭和

二十九年四月一日光文社「カッパ
ブックス」等。

